

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- ・ 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(70歳代女性)ありました。感染地域は国内で、感染経路は経口感染です。本年の累積報告数は41例となりました。
発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については、下記URLを御参照ください。
○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- ・ ウイルス性肝炎(B型)の報告が1例(10歳代男性)あり、症状は全身倦怠感、肝機能異常及び黄疸です。感染地域は国内、感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は3例となりました。
- ・ カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(80歳代男性)(第36週追加報告分)ありました。本年の累積報告数は29例となりました。
- ・ 梅毒の報告が1例(20歳代男性)あり、症状は鼠径部リンパ節腫脹及び梅毒性バラ疹です。感染地域は国内で、感染経路は性的接触(異性間)です。本年の累積報告数は47例となりました。
- ・ RSウイルス感染症の定点当たり報告数は増加が続いており、2.02(87例)となりました。マスク着用や咳エチケット、手洗い等の基本的な予防策を徹底してください。

◆ 今週のトピックス: <結核>

毎年9月24日～30日は結核予防週間です。京都市では、結核予防に関する普及活動に日々取り組んでいるところであり、結核予防週間にあたり、2018年の結核の状況についてまとめました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類: 結核 8例(肺結核 3例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者 3例)うち喀痰塗抹陽性 3例
【1月以降の累積報告数 219例(肺結核 95例, その他結核55例, 潜在性結核感染者 69例)うち喀痰塗抹陽性 47例】
- ・ 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 41例】
- ・ 五類: ウイルス性肝炎(B型) 1例【1月以降の累積報告数 3例】
- ・ 五類: カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 3例【1月以降の累積報告数 29例】
- ・ 五類: 梅毒 1例【1月以降の累積報告数 47例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0. 72	50
小児科	① 感染性胃腸炎	2. 70	116
(降順5位まで)	② RSウイルス感染症	2. 02	87
	③ 手足口病	1. 16	50
	④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1. 12	48
	⑤ 伝染性紅斑	0. 93	40
眼科	流行性角結膜炎	0. 90	9

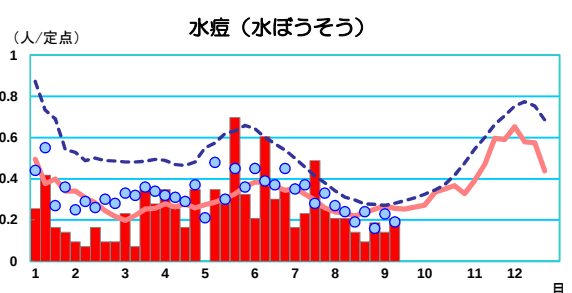
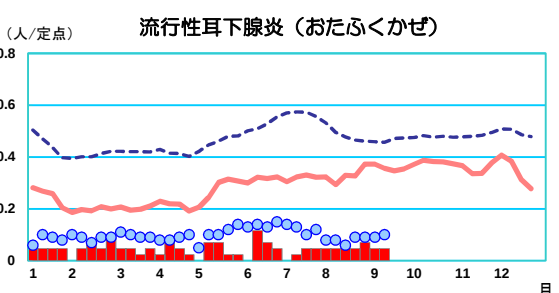
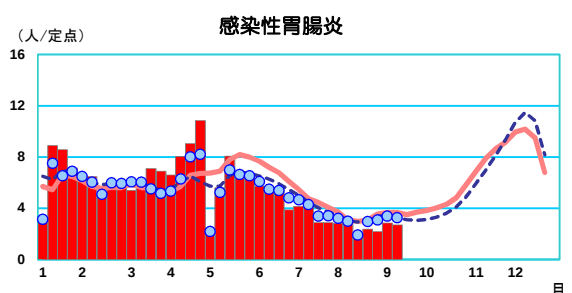
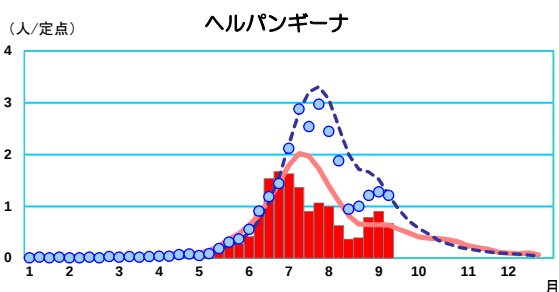
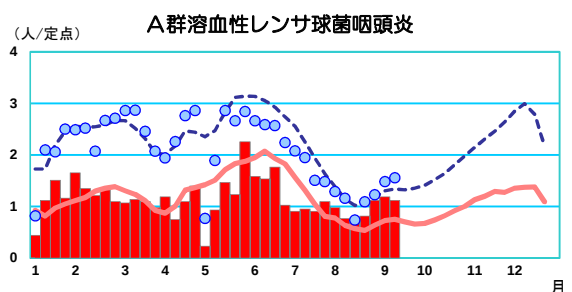
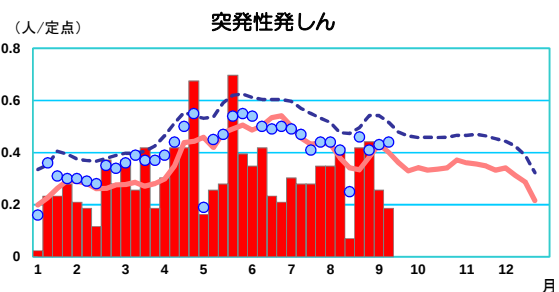
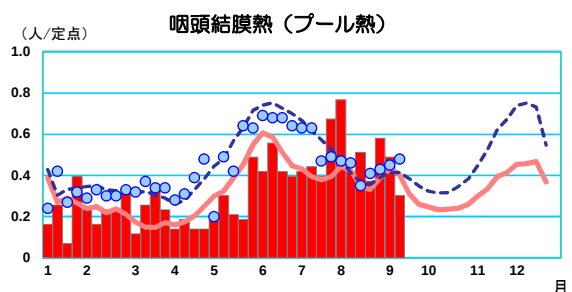
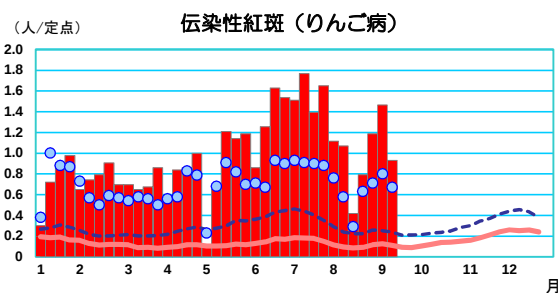
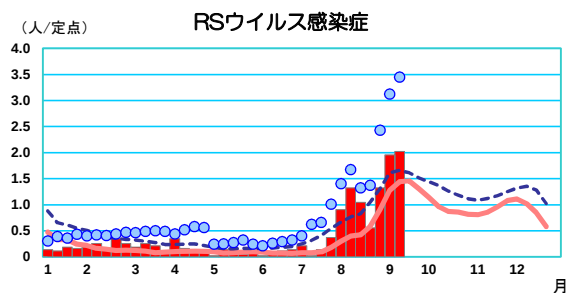
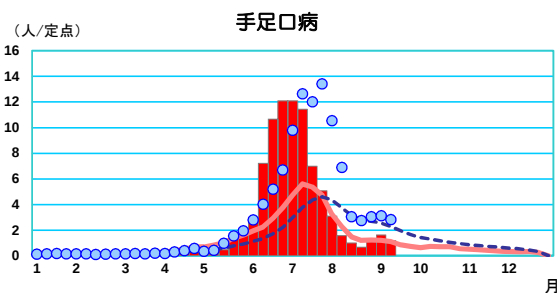
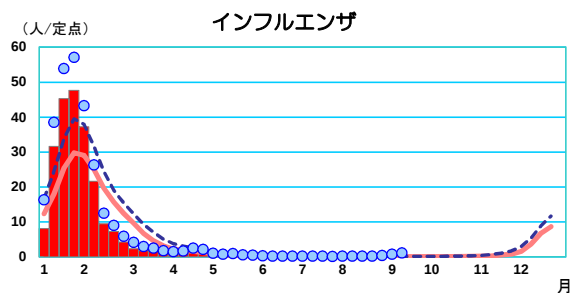
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <結核>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、2019年9月18日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。
* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2019年）



第37週(9月9日～9月15日)トピックス: <結核>

毎年9月24日～30日は結核予防週間です。京都市では、結核予防に関する普及活動に日々取り組んでいるところであり、結核予防週間にあたり、2018年の結核の状況についてまとめました。

本市の過去10年間の結核新登録患者は、多少の増減はあるものの、おおむね減少傾向にあります。2018年は227人で、2017年(235人)と比べ8人減少しました。罹患率(人口10万対)は15.5で、2017年の16.0から0.5ポイント減少しました。依然として、全国の12.3と比較して高い値を示しています。また、肺結核喀痰塗抹陽性罹患率も6.2と、2017年の6.9から減少したものの、全国の4.6と比較して高い値となっています(表1)。

京都市では2018年に第三次基本指針を策定し、2022年までに罹患率12.0以下(2013年策定第二次基本方針では15.0以下)、肺結核喀痰塗抹陽性罹患率4.5以下(同6.5以下)に減少させることを目標としています(図1)。達成に向けて、更なる罹患率低下に取り組んでいます。

京都市の新登録患者数を年齢階級別にみると、80歳以上が46.3%(前年45.5%)でおおよそ半数を占めています。60歳代11.0%(同11.5%)及び70歳代21.6%(同17.0%)を加えると、60歳以上の患者が78.9%(同74.0%)となり、依然として60歳以上の患者が高い割合を占めています(図2)。

結核は、患者の咳やくしゃみに含まれる結核菌を他の人が吸い込むことで感染します。このため、発見や診断が遅れると、家族や身近な人へ感染させてしまうかもしれません。症状がなくても年1回は検診を受けるほか、2週間以上咳や痰(たん)、微熱が続くようなら早めに受診しましょう。

京都市では、市内在住15歳以上の方を対象に、年間を通じて区役所・支所で結核検診(胸部エックス線撮影)を無料で実施しています。また、65歳以上の方は、年1回の結核検診の受診が義務付けられています。必ず受診するようにしましょう。結核予防週間にあわせて市民しんぶん各区版9月15日号でも案内しています。

○京都市情報館ホームページ「結核検診について」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000121872.html>

表1 京都市及び全国の結核新登録患者数

区分	2017年	2018年	全国(2018年)*
新登録患者数(人)	235	227	15,590
罹患率(人口10万対)	16.0	15.5	12.3
肺結核喀痰塗抹陽性患者数(人)	101	91	5,781
新登録患者に占める割合(%)	43.0	40.1	37.1
罹患率(人口10万対)	6.9	6.2	4.6

*全国の数値は2019年7月5日現在の厚生労働省年報集計結果による

図1 過去10年間の結核罹患率と肺結核喀痰塗抹陽性罹患率の推移

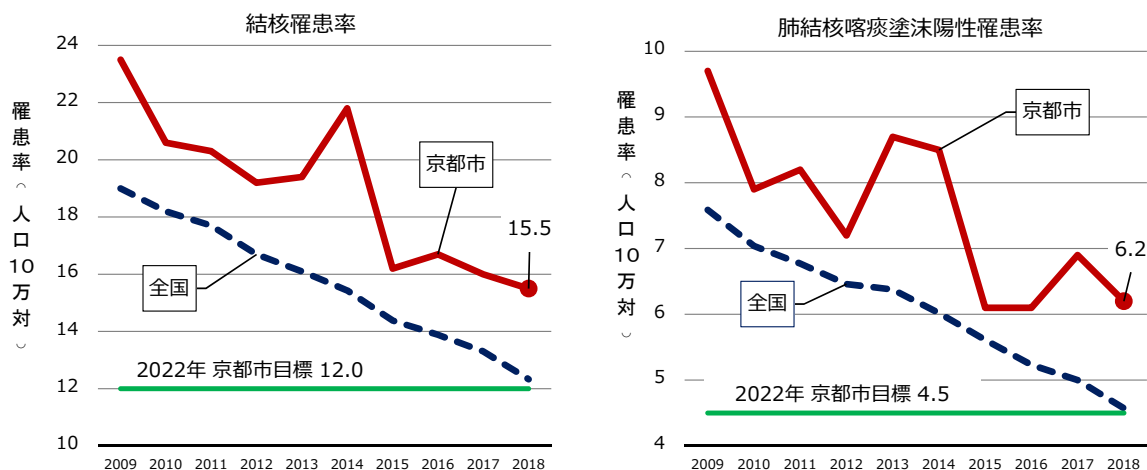
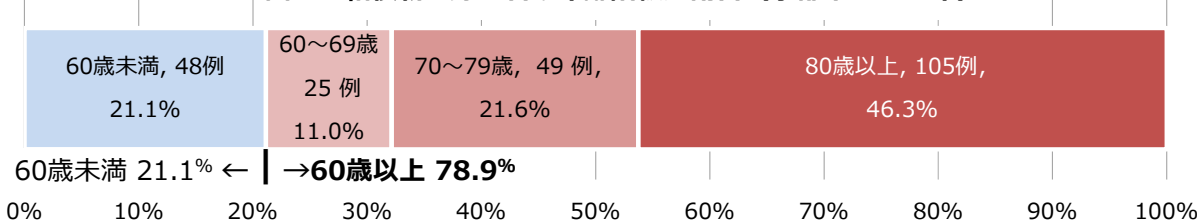


図2 結核新登録患者の年齢階級別割合(京都市 2018年)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第37週

疾病,行政区別報告数

2019年9月9日～2019年9月15日

データ入手日:2019年9月18日

	インフルエンザ（※1）	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
男女合計																		
北	1	2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1					
上京	2	4	1	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-					
左京	18	21	-	6	5	-	5	7	3	1	-	-	-					
中京	6	5	2	2	8	-	5	1	-	7	-	-	2	-	-	-	-	-
東山	2	6	-	-	20	-	1	-	-	-	-	-						
山科	3	11	-	5	-	1	6	4	1	3	1	-	2					
下京	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-						
南	2	1	-	1	6	-	4	5	-	5	-	-						
右京	8	13	6	26	16	5	6	3	-	-	1	-	3					
伏見	6	19	4	4	47	2	10	18	3	12	-	-	1					
西京	2	5	-	2	12	1	12	-	1	1	-	-	-					
京都市計	50	87	13	48	116	9	50	40	8	29	2	-	9	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ（※1）	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
男女合計																		
北	0.14	0.50	-	-	0.25	-	0.25	-	-	-	-	-	1.00					
上京	0.40	1.33	0.33	0.67	-	-	-	0.67	-	-	-	-	-					
左京	2.57	5.25	-	1.50	1.25	-	1.25	1.75	0.75	0.25	-	-	-					
中京	1.20	1.67	0.67	0.67	2.67	-	1.67	0.33	-	2.33	-	-	1.00	-	-	-	-	-
東山	0.67	3.00	-	-	10.00	-	0.50	-	-	-	-	-						
山科	0.43	2.20	-	1.00	-	0.20	1.20	0.80	0.20	0.60	0.20	-	2.00					
下京	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-						
南	0.40	0.33	-	0.33	2.00	-	1.33	1.67	-	1.67	-	-						
右京	1.00	2.60	1.20	5.20	3.20	1.00	1.20	0.60	-	-	0.20	-	3.00					
伏見	0.55	2.71	0.57	0.57	6.71	0.29	1.43	2.57	0.43	1.71	-	-	0.50					
西京	0.25	1.00	-	0.40	2.40	0.20	2.40	-	0.20	0.20	-	-	-					
京都市計	0.72	2.02	0.30	1.12	2.70	0.21	1.16	0.93	0.19	0.67	0.05	-	0.90	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第37週

年齢階級, 疾病別報告数

2019年9月9日～2019年9月15日

データ入手日:2019年9月18日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳～	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳～	5歳～	10歳～	15歳～	20歳～	25歳～	30歳～	35歳～	40歳～	45歳～	50歳～	55歳～	60歳～	65歳～	70歳以上				
インフルエンザ（※1）	年齢1	50	－	1	3	1	5	6	6	2	3	1	2	5	5	－	6	1	－	1	2	－
RSウイルス感染症	年齢3	87	13	14	33	16	8	－	1	1	1	－	－	－	－	－						
咽頭結膜熱		13	－	－	5	1	2	1	3	1	－	－	－	－	－	－						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		48	－	－	4	1	8	9	2	9	7	2	1	3	－	2						
感染性胃腸炎		116	1	4	15	13	10	12	13	5	6	2	4	18	2	11						
水痘		9	－	－	－	－	－	2	－	1	2	3	－	1	－	－						
手足口病		50	－	2	13	7	13	9	5	1	－	－	－	－	－	－						
伝染性紅斑		40	－	－	1	5	7	7	3	5	5	1	1	3	－	2						
突発性発しん		8	－	4	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
ヘルパンギーナ		29	1	2	8	3	5	5	1	3	1	－	－	－	－	－						
流行性耳下腺炎		2	－	－	1	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－						
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
流行性角結膜炎		9	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	1	2	3	－	1	－	
細菌性髄膜炎（※2）	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
クラミジア肺炎（※3）		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
感染性胃腸炎（※4）		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳～	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳～	5歳～	10歳～	15歳～	20歳～	25歳～	30歳～	35歳～	40歳～	45歳～	50歳～	55歳～	60歳～	65歳～	70歳以上				
インフルエンザ（※1）	年齢1	0.72	－	0.01	0.04	0.01	0.07	0.09	0.09	0.03	0.04	0.01	0.03	0.07	0.07	－	0.09	0.01	－	0.01	0.03	－
RSウイルス感染症	年齢3	2.02	0.30	0.33	0.77	0.37	0.19	－	0.02	0.02	0.02	－	－	－	－	－						
咽頭結膜熱		0.30	－	－	0.12	0.02	0.05	0.02	0.07	0.02	－	－	－	－	－	－						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.12	－	－	0.09	0.02	0.19	0.21	0.05	0.21	0.16	0.05	0.02	0.07	－	0.05						
感染性胃腸炎		2.70	0.02	0.09	0.35	0.30	0.23	0.28	0.30	0.12	0.14	0.05	0.09	0.42	0.05	0.26						
水痘		0.21	－	－	－	－	－	0.05	－	0.02	0.05	0.07	－	0.02	－	－						
手足口病		1.16	－	0.05	0.30	0.16	0.30	0.21	0.12	0.02	－	－	－	－	－	－						
伝染性紅斑		0.93	－	－	0.02	0.12	0.16	0.16	0.07	0.12	0.12	0.02	0.02	0.07	－	0.05						
突発性発しん		0.19	－	0.09	0.09	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
ヘルパンギーナ		0.67	0.02	0.05	0.19	0.07	0.12	0.12	0.02	0.07	0.02	－	－	－	－	－						
流行性耳下腺炎		0.05	－	－	0.02	－	－	－	－	－	0.02	－	－	－	－	－						
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
流行性角結膜炎		0.90	－	－	0.10	－	－	－	－	－	－	－	－	0.10	－	0.10	0.20	0.30	－	0.10	－	
細菌性髄膜炎（※2）	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
クラミジア肺炎（※3）		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
感染性胃腸炎（※4）		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第37週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2019年9月18日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	10	10	5	6	46	50
RSウイルス感染症	58	45	24	57	84	87
咽頭結膜熱	25	22	16	25	21	13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	37	31	35	48	51	48
感染性胃腸炎	135	73	102	94	123	116
水痘	9	6	4	8	6	9
手足口病	79	43	29	47	70	50
伝染性紅斑	49	18	34	51	63	40
突発性発しん	21	3	18	19	11	8
ヘルパンギーナ	29	16	17	34	39	29
流行性耳下腺炎	2	2	2	3	2	2
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	-	7	6	6	9
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合 計	457	269	293	398	522	461

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	0.14	0.14	0.07	0.09	0.67	0.72
RSウイルス感染症	1.35	1.05	0.56	1.33	1.95	2.02
咽頭結膜熱	0.58	0.51	0.37	0.58	0.49	0.30
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.86	0.72	0.81	1.12	1.19	1.12
感染性胃腸炎	3.14	1.70	2.37	2.19	2.86	2.70
水痘	0.21	0.14	0.09	0.19	0.14	0.21
手足口病	1.84	1.00	0.67	1.09	1.63	1.16
伝染性紅斑	1.14	0.42	0.79	1.19	1.47	0.93
突発性発しん	0.49	0.07	0.42	0.44	0.26	0.19
ヘルパンギーナ	0.67	0.37	0.40	0.79	0.91	0.67
流行性耳下腺炎	0.05	0.05	0.05	0.07	0.05	0.05
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.30	-	0.70	0.60	0.60	0.90
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合 計	10.77	6.17	7.31	9.66	12.20	10.97

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。